

履修登録について

【ご質問】（投稿日：2018年10月6日）

履修登録全般について質問です

①E科目について

現在どこの学部学科でも E 科目の履修が卒業要件に含まれていたりなどして全ての京大生が E 科目を履修する必要があると思います。しかし全ての E2 科目では人数制限が 60 人と頭打ちされてしまい、履修制限に引っかかって E 科目が履修出来ないというケースが多発しています。クラス指定科目や専門科目など、他に履修しなければいけない科目が多い人にとってこれは正直とても不都合な状況です。コミュニケーションを重視するクラスはともかくとして講義型の授業に人数制限をかける意味はあるのでしょうか？

②クラス抽選について

現在人数制限がある科目の履修登録の方法としてクラス抽選という制度があります。しかし現在学生の状況として、その科目を履修したいからではなく、とりあえず当たればラッキーくらいにしか思っていないのに抽選に参加したり、もはや運試しに利用されている科目も見受けられます。このような状況の中で自分の履修したい科目を純粹に選択できている学生はほぼいないという実感を受けています。そこで、クラス抽選に参加出来る科目に上限を設けることや、当選した科目は履修取り消し出来ないなどのより厳しい制限を設けることで対策を講じることは出来ないのでしょうか？

参考までにですが、クラス抽選に参加した科目数の僕の知りうる限りの最大コマ数は 18 でした。これは全て当選するとキャップ制に当然引っかかるので履修取り消しを行わなければならず、本当に履修したかった人にとってはいい迷惑になっている、と感じます。

③楽単・鬼単について

学生の間では簡単に単位を取得することができる科目を楽単、単位取得が容易ではない科目を鬼単と呼ぶ人がほとんどです。多少の格差はまあしょうがないと思うのですが、クラス抽選の様子を見るととりあえず楽単の抽選には参加して当たったら履修するなどという、自らの興味を度外視した履修を行っている学生が少なくありません。そのせいで取りたかった科目が取れずに迷惑している学生も大量にいます。そこで、単位取得のための科目間の学生の負担をもう少し同じくらいにすることは出来ないのでしょうか？

④科目情報の流布について

後期が開始して京大構内を歩いていると、とある情報冊子が配られている光景をよく目にします。この冊子の中には「この科目は楽単だ！」や、「この科目は鬼単だ！」などという情報が記載されていました。その影響もあってか冊子に載っている科目のクラス抽選の

倍率が跳ね上がってしまい、元々履修したかった人達にとってはいい迷惑になっています。また、他にも確実に楽単であるという科目がその冊子には載っていないという情報も入ってきました。1人の学生として、これはもはや冊子編集委員の人達の情報操作が行われているようにしか感じません。そこで、このような内容の冊子を流布することを禁止することは出来ないのでしょうか？

【回答】（回答日：2018年11月5日）

（国際高等教育院事務部）

以下の通りご質問に回答いたします。

- ① このご質問については、2017年10月13日付「E2科目について」への回答及び2017年10月25日付「E2科目について(2)」への回答もご覧ください。

講義形式の授業であっても、授業の円滑な実施及び科目の質保証のため、英語力を実質的に強化する上で適正と判断される人数を上限として人数制限しています。抽選時に定員に達するE2科目はありますが、E1・E3科目と合わせてE科目全体として十分と考えられる定員を確保しています。

- ② 抽選を行った科目について、当選者が全員履修登録をしなかったために履修者数が定員を下回ってしまう科目があることは把握しており、その対策として、来年度以降はできるだけ多くの履修希望に応えられる仕組みを検討しています。

申し込み科目数に上限を設けたり、当選した科目の履修取消に制限を付したりすることは考えておりませんが、ご提案は貴重なご意見として参考にさせていただきます。

- ③ ご意見のとおりです。教育院内で授業や成績評価のあり方について検討を進めています。

- ④ このご質問については、2018年7月5日付「京都大学新入生向けフリーペーパー内のコーナーにおける『楽勝科目』について」への回答もご覧ください。

学外の団体が発行する特定の冊子の配布を禁止することは考えておりません。特定の冊子を参考にしたのだとしても、履修登録科目を最終的に選択するのは学生諸君一人ひとりですから、その結果として抽選が行われることはやむを得ないと考えています。